



2026年5月号
(創刊号)

木育だより

木に触れ
木に学び
木と生きる

令和8年度がスタートし1か月が過ぎようとしています。

園庭の木々も緑色の葉をつけ始め、ブルーベリーの木もたくさんの花が咲き、これから実になり今年も収穫できるかもと期待が膨らみます。

昨年度は木育活動をたくさん実施することができ、子どもたちの木に対する関心が深まってきたように感じます。椎茸栽培も始まり（と言っても、見守るだけですが）観察を続けていきます。保護者の皆さんもぜひご覧ください！

今年度も園庭の木々に触れることから始め、近隣の公園や街路樹の様子、遠くに見える山々の恵みにも気付けるような、木育活動を行っていきたくと思っています。どうぞよろしくお祈りします！



令和7年度の取り組みを振り返ると...

- ・森林の伐採現場の見学（つき組）
- ・椎茸の駒うち体験（全クラス）
- ・木材流通センター見学（つき組）
- ・家具工房の見学と木工作（つき組）

始良西部森林組合や岡家具店の協力があり、実現しました。今年度も楽しい体験ができるよう計画しています！

木育活動のねらい

- ①身近な樹の葉や実、花などに興味を持ち、樹木と暮らしの中の木とのつながりを感じる力を育てる。
- ②指を使い、音を聴き、匂いを嗅ぎ、五感を総動員して木に向かい表現することで想像力を育む。
- ③「木でつくる」ことを通して、木は自然が育んだ命であることに気づき、愛着を持ち大切にすることを育てる。

園内での活動

- ・積み木遊びを楽しもう！
- ・園庭や近くの公園の木々を観察しよう。
- ・自然物を使った遊びを楽しもう！
- ・木材を使った工作を楽しもう！

毎日の遊びの中で、それぞれの季節を感じ楽しみながら、自然の事やSDGsを学ぶ機会にしていきたくと思います。

令和8年度はどんな活動？

今年度も鹿児島県の森林の体験活動支援事業に取り組む予定です。昨年同様、始良市西部森林組合さんや岡家具さんと森林の伐採体験や木工作を行います。

そして、新しくNPO法人四季の会の皆さんとも連携を取り活動する予定で「さえずりの森」での活動を年3回計画しています。1回目（5月）、2回目（7月）つき組さんが森の散策と草スキー、竹細工と水遊びを計画。そして、3回目の秋（11月頃）は親子で参加できる木育イベントが出来ないかと検討中です。

年間計画には入れておりませんので、実施の有無を早めにお知らせしたいと思えます。希望者のみの参加となり、園でのお預かりは、平常通り行う予定です。詳細は、県からの助成が決定次第お知らせします。



* 2か月に1回ほど、木育だより発行します！

建昌こぎく保育園（木育インストラクター：横井）